

■基本方針1. 社会的な要因、地域の実態を把握し、情報の共有に努めます

基本施策(1) 自殺の実態を明らかにする

① 統計データ等による実態集計、分析

具体的な取り組み名	平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
① 自殺者や自殺をとりまく実態の集計、分析	自殺者や自殺をとりまく実態の集計、分析を行う。	死亡小票をもとに自殺者の集計・分析を実施した。 平成27年自殺者数19人(男13人、女6人) 国・県と同様、女性より男性が多かった。 国・県とは異なり、勤務者が多い傾向だった。	国や県と異なる実態が続いていることが確認でき、今後の施策展開の参考となった	自殺者や自殺をとりまく実態の集計、分析を行う。	健康増進課

② 自殺関係対応の実態を明らかにする

具体的な取り組み名	平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
② 自殺関係対応の実態を明らかにする	自殺関係対応を随時実施し情報を集計、分析を行う。	○各相談担当にて自殺関係対応として、個別支援・ケース会議などを随時実施した。当課相談件数:精神保健相談1,259件 うち自殺関連240件(延べ) ○湖南いのちサポート相談事業(県自殺予防情報センター事業)等による自殺未遂者支援として、9件(11回)のケース会議を開催。 ○自殺未遂者支援事例検討会の開催 ○市内大学との情報交換会	各種相談とともに、自殺未遂者支援について多機関と共有し分析を行うことができた。 ・個別支援を通し、草津市の支援の課題などを検討し、未遂者支援体制を改善することができた。 ・個別事例について、支援者のスキルアップを図ることができた。 ・大学における自殺未遂者支援の実態を共有することができ、県事業につなげることができた。	○各相談担当にて自殺関係対応として、個別支援・ケース会議などを随時実施する ○湖南いのちサポート相談事業(県自殺予防情報センター事業)等による自殺未遂者支援のケース会議を開催。 ○自殺未遂者支援事例検討会の開催 ○市内大学との情報交換会	健康増進課

・基本施策(2) 情報を共有し総合的な自殺対策を推進する

① 関係課および関係機関、市民との情報共有、施策の方向性の検討

具体的な取り組み名	平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
③ 草津市自殺対策推進会議	年間2回開催予定 自殺対策の推進および評価に関し、必要な事項についての調査審議に関する事務ならびに自殺対策に関する関係者相互の連絡調整に関する事務を行う。	2回開催 自殺の実情についての情報共有、自殺対策にかかる事業の進捗報告、内容の協議、関係者相互の連絡調整などを実施した。	関係機関や市民の立場から多様な御意見をいただき、各機関が情報を共有しながら計画推進していくことができた。	年間2回開催予定 自殺対策の推進および評価に関し、必要な事項についての調査審議に関する事務ならびに自殺対策に関する関係者相互の連絡調整に関する事務を行う。	関係機関
④ 草津市自殺対策関係課会議	年間2回開催予定 自殺の実状についての把握、情報共有および分析を行い、具体的な施策の展開について検討ならびに実施後の情報交換を行う。推進会議と相互に連携を図り、計画に基づき、施策の推進、検討及び評価を行う。	2回開催 自殺の実状についての情報共有し、関係機関の連携など具体的な施策の展開について検討ならびに実施後の情報交換を行った。	自殺の現状や市の取り組みについて共有し、具体的な施策についての検討や情報交換を行うことができた。	年間2回開催予定 自殺の実状についての把握、情報共有および分析を行い、具体的な施策の展開について検討ならびに実施後の情報交換を行う。推進会議と相互に連携を図り、計画に基づき、施策の推進、検討及び評価を行う。	関係各課

■基本方針2. こころの健康づくりをすすめます

・基本施策(3) 健やかなこころをはぐくむ

① いのちや人権を大切にす取り組み

具体的な取り組み名		平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
新1	やすらぎ学級				60歳以上の市民を対象に、「楽しい出会い・友達づくり」をテーマとして、年8回の講座を開講し、講座とは別に、受講生の中で、3B体操、うた声などのサークル活動も行うことができる。	老上西市民センター
新2	人権講座				年間2回、人権を考えるつどいを開催する。老上学区同和教育推進協議会と共催。	老上西市民センター
7	自殺対策のために必要な情報を共有し、総合的に自殺対策を推進する取り組み	草津市自殺対策関係課会議に出席する等、関係機関との情報交換を行う。	草津市自殺対策関係課会議に出席し、関係機関との情報共有を行った。	自殺対策のための必要な情報を共有できた。	草津市自殺対策関係課会議に出席する等、関係機関との情報交換を行う。	人権政策課
8	人権に関する悩み相談	人権の大切さを市広報への掲載や人権センターだよりの配布、宿場まつり、パネル展、人権セミナーなどで啓発を行う。	左記による啓発を通じて、人権相談の紹介と周知を行った。	相談件数は、直近の5年の平均(158件)の約90%となっている。	人権の大切さを市広報への掲載や人権センターだよりの配布、宿場まつり、パネル展、人権セミナーなどによる啓発。また、草津人権擁護委員会や、人権擁護推進協議会などによる啓発活動を通じて、人権相談の紹介と周知を行う。	人権センター
9	仲間づくりや生きがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	仲間作りや生きがいがづくりを図り、地域での活動を促進する。「やすらぎ学級(一般教養講座8回)(サークル活動)」「地域伝承文化(菊づくり4回)(しめ縄講座1回)」「小学校PTAと地域の各組織・団体、行政職員等と一緒に命や人権を大切にす取り組みとして「人権講座」(2回)を開催予定。	「やすらぎ学級」(一般教養講座 8回開催 参加人数延べ211人)(サークル活動 7回開催 参加人数延べ135人)「地域伝承文化」(菊づくり 4回開催 参加人数延べ71人)(しめ縄講座 1回開催 参加人数13人)「人権講座」(2回開催 参加人数延べ93人)	公民館講座等を実施することにより、仲間作りや生きがいがづくりを図り、地域での活動を促進することができた。また、人権講座を開催することにより、小学校PTAと地域の各組織・団体、行政職員等と一緒に命や人権を大切にすことを学ぶことができた。	仲間作りや生きがいがづくりを図り、地域での活動を促進する。「やすらぎ学級(一般教養講座8回)(サークル活動)」「地域伝承文化(菊づくり4回)(しめ縄講座1回)」「小学校PTAと地域の各組織・団体、行政職員等と一緒に命や人権を大切にす取り組みとして「人権講座」(2回)を開催予定。	志津市民センター
10	いきがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	公民館講座として「やすらぎ学級」「志津南シニアのつどい」「人権講座」「地域学習課題講座」を実施し、仲間づくりや生きがいがづくりを図るとともに、地域での活動を促進する。	公民館講座として「やすらぎ学級」(全10回 参加人数377人)「志津南シニアのつどい」(全4回参加人数169人)「人権講座」(全2回参加人数112人)「地域課題学習講座」(参加人数13人)を実施した。	公民館講座受講により、仲間づくりや生きがいがづくりの一助となった。	公民館講座として「やすらぎ学級」「志津南シニアのつどい」「人権講座」を実施し、仲間づくりや生きがいがづくりを図るとともに、地域での活動を促進する。	志津南市民センター
11	いきがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	公民館講座として「やすらぎ学級」「高齢者講座ひだまり」「人権講座」を実施し、仲間づくりや生きがいがづくりを図るとともに、地域での活動を促進する。	やすらぎ学級11回、高齢者講座ひだまり8回、人権講座2回を開催	各講座たくさんの参加があり、楽しみに来られた。	公民館講座として「やすらぎ学級」「高齢者講座ひだまり」「人権講座」を実施し、仲間づくりや生きがいがづくりを図るとともに、地域での活動を促進する。	大路市民センター
12	仲間づくりやいきがいがづくりの取り組み	・市内の60歳以上の高齢者を対象に仲間づくりや生きがいがづくりを目的に「洪川やすらぎ学級」を8回開催予定。また高齢者等の公民館利用促進などを目的に「高齢者等つどい推進事業」を2回開催予定。 ・人権講座を2回開催予定(うち1回は洪川学区まちづくり協議会と開催)。	・洪川公民館やすらぎ学級8回開催(延べ参加人数371人) ・高齢者等つどい推進事業2回開催(延べ参加人数:87人) ・人権講座2回開催(延べ参加人数124人)	やすらぎ学級については、内容がマンネリ化していることもあるとの意見があったので来年度に反映させる。高齢者等つどい推進事業では、マイナンバーの説明会を開催して盛況だった。人権講座では、コンサートと講演を組み合わせ楽しみながら学ぶことができた。	・洪川公民館やすらぎ学級8回開催予定(60歳以上の高齢者が対象) ・高齢者等つどい推進事業2回開催 ・人権講座2回開催	洪川市民センター
13	仲間づくりや生きがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	仲間作りや生きがいがづくりをはかり、地域での活動を促進する。また、高齢者には、ひきこもりにならないよう気軽に参加できる講座を開催。「やすらぎ学級(一般教養講座9回)(サークル活動10回)」「高齢者のつどい(3回)」、地域の様々な方に関わって頂くことにより、子どもたちと地域の方との結びつきを強め、また地域の方々の青少年健全育成への関心を高める。体験合校(2泊3日)、わんぱくブラザ矢倉っ子事業(8回)、小学校PTAと地域の各組織・団体、行政職員等と一緒に命や人権を大切にす取り組み「人権のつどい」、地域の高齢者から児童までが出会い・語り合う場所とするとともに学区民のコミュニティを育て、この事業にかかわる多くの人たちのエネルギーを矢倉学区の参加型のまちづくりに生かすことを目的に、「ふれあいまつり」を開催する。	・やすらぎ学級(一般教養講座9回、クラブ活動8回)33人、延べ185人。 ・高齢者のつどい(医師による健康講和と体操・なつかしの歌声3回)延べ62人。 ・体験合校2泊3日36人。 ・わんぱくブラザ矢倉っ子 8回延べ222人。 ・人権のつどい250人 ・ふれあいまつり2,700人	やすらぎ学級は9回のうち5回以上の参加者が7割となった。高齢者の方はもとより子どもから大人が、いろいろな事業に参加することで、人を思いやる心・大切にす心が醸成され、地域で暮らす人たちの繋がりがより広がったと思う。	・60歳以上の高齢者を対象に、ひきこもりにならないよう気軽に参加できる講座として、「やすらぎ学級(一般教養講座8回)(クラブ活動8回)」「高齢者のつどい(3回)」を開催する。 ・地域の様々な方と子どもたちがさまざまな形で関わることで結びつきを強めるため、わんぱくブラザ矢倉っ子事業(7回)を開催する。 ・小学校PTAと地域の各組織・団体、行政職員等と一緒に命や人権を大切にす取り組みとして、「人権のつどい」を開催する。 ・地域の高齢者から児童までが出会い・語り合う場所とするとともに学区民のコミュニティを育て、この事業にかかわる多くの人たちのエネルギーを矢倉学区の参加型のまちづくりに生かすことを目的として、「ふれあいまつり・矢倉」を開催する。	矢倉市民センター
14	やすらぎ学級	60歳以上の市民を対象に、「いつまでも心豊かに健やかに」をテーマとして、年8回の講座を開講し、講座とは別に、受講生の中で、カラオケ、民謡などのサークル活動も行うことができる。	60歳以上の市民73人の会員があつまり、年8回の講座延べ326人受講。講座とは別に、受講生の中で、カラオケ、民謡、3B体操、わらべ唄、大正琴に加えて新たにパソコンサークル活動を行った。	講座のほか、公民館の前庭そうじを年に2回、映画を観る会も会員による運営ができた。	60歳以上の市民を対象に、「いつまでも心豊かに健やかに」をテーマとして、年8回の講座を開講し、講座とは別に、受講生の中で、パソコン、民謡などのサークル活動も行うことができる。	老上市民センター

15	人権講座	年間2回、人権を考えるつどいを開催する。老上学区同和教育推進協議会と共催。	『人権を考えるつどい』を年に2回開催。 「老上に根付く人権の心、心の扉をノックしたら」(講師 久泉和久氏)27人参加。 に「自由『リパティエ』人権発幸せ行き」(講師 久米田豊子氏)43人参加。老上学区同和教育推進協議会と共催で行った。	老上学区同和教育推進協議会と共催で行うことができ、1回は、橋岡会館で開催した。	年間2回、人権を考えるつどいを開催する。老上学区同和教育推進協議会と共催。	老上市民センター
16	自主教室	草津市立公民館における自主教室開設に関する指導要項を基に老上公民館にて12の自主教室を開設。	草津市立公民館における自主教室開設に関する指導要項を基に老上公民館にて12の自主教室を開設した。	目標は達成できた。	草津市立公民館における自主教室開設に関する指導要項をもとに老上公民館にて11の自主教室を開設。	老上市民センター
17	いきがいつくりの取り組み 公民館講座の実施	公民館講座として60歳以上の人を対象とした講座をひき続き開催し、楽しい出会い、新しい出会いの場を作り、仲間づくりや生きがいつくりを図る。	「やすらぎ学級」6回、シニアのつどい、講座を計9回実施。 認知症予防や防災講座などの中で独居世帯の高齢者にも地域で支えあうことの重要性を再確認することができた。	相対的に参加者数も増え、H28年度のやすらぎ学級受講者数も増加した。	これまでの公民館講座を継承し(やすらぎ学級6回、講座・つどい計9回)、高齢者の積極的な地域参加や生きがい作りを図る。	南笠東市民センター
18	仲間づくりや生きがいつくりの取り組み 公民館講座の実施	「やすらぎ学級(一般教養講座 7回)(サークル活動)」 「高齢者のつどい(いっぶくサロン 6回)」 「人権講座(2回)」	「やすらぎ学級(一般教養講座 7回)(サークル活動)」 「高齢者のつどい(いっぶくサロン 5回)」 「人権講座(2回)」	仲間作りや生きがいつくりを図り、地域での活動を促進できた。また、高齢者には、ひきこもりにならないよう気軽に参加できる講座を開催した。地域の各組織・団体、行政職員等と一緒に命や人権を大切にすることができた。	「やすらぎ学級(一般教養講座 7回)(サークル活動)」 「高齢者のつどい(いっぶくサロン 9回)」 「人権講座(2回)」	山田市民センター
19	仲間づくりや生きがいつくりの取り組み 公民館講座の実施	仲間作りや生きがいつくりを図り、地域での活動を促進する。また、高齢者には、ひきこもりにならないよう気軽に参加できる講座を開催。「やすらぎ学級(一般教養講座9回)(サークル活動)」 「高齢者のつどい(9回)」 小学校PTAや地域の各組織・団体、行政職員等と一緒に命や人権を大切にしている取り組み「人権講座(2回)」	・やすらぎ学級講座9回(延べ参加人数456人)学級生は、92人 ・高齢者のつどい講座9回(延べ参加人数84人) ・人権講座2回(延べ参加人数71人)	高齢者対象のやすらぎ学級は、町内の方への呼びかけ活動等で新しい参加者も増加し、内容も充実することができた。人権講座については、小学校のPTAや各組織・団体等が協力して実施し、音楽を取り入れた人権らいた的な講座も実施した。	仲間作りや生きがいつくりを図り、地域での活動を促進する。また、高齢者には、ひきこもりにならないよう気軽に参加できる講座を開催。「やすらぎ学級(一般教養講座9回)(サークル活動)」 「高齢者のつどい(3回)」 小学校PTAや地域の各組織・団体、行政職員等と一緒に命や人権を大切にしている取り組み「人権講座(2回)」	笠縫市民センター
20	いきがいつくりの取り組み 公民館講座の取り組み	高齢者のための「やすらぎ学級」健康で美しいいきいきとをテーマにし講座の内容が偏らないようメリハリをつけ参加しやすくしひきこもり防止を図る。「つどい講座」では仲間づくりがしやすいようティータイムを設けるなど工夫をする。学区内の各種団体、公民館サークル、一般の方々対象に学区広報でも広く呼びかけ「人権講座」を開催し命や人権を大切にしている取り組みを行い地域での活動を促進している。	「やすらぎ学級」9回、「つどい講座」3回、「人権講座」2回を開催し、地域の情報紙を全戸配布することや、窓口でチラシを手渡しすることで、広く参加を呼びかけた。「つどい講座」では、仲間作りができるようにティータイムを設けるなどの工夫をした。	情報紙やチラシ配布の効果に加え、地域住民の誘いあいによって、「やすらぎ学級」の会員も増えた。また、「つどい講座」では、やすらぎ学級に参加していない高齢者の参加も得られた。	高齢者のための「やすらぎ学級」は『前向きに…明るく元気に』をテーマに、人権、福祉、音楽、交通安全、体操、医療などの講座を全9回実施予定。また、サークル活動によって仲間作りを促進できるようサポートを行う。3回実施予定の「つどい講座」は、多くの高齢者が気軽に参加できる内容とし、仲間作りや生きがい作りを図る。地域の各組織・団体、行政職員等と一緒に命や人権を大切にしている取り組みとして「人権講座」を2回開催予定。	笠縫東市民センター
21	仲間づくりや生きがいつくりの取り組み 公民館講座の実施	学習活動やグループ活動を通して、仲間作りや生きがいつくりを図るとともに、地域での活動を促進する。また、高齢者には、気軽に参加できる講座を開催。 「やすらぎ学級(講座10回)(サークル活動の推進)」 地域の各組織・団体、行政職員等と一緒に命や人権を大切にしている取り組み「人権講座(2回)」を実施予定。	学習活動やグループ活動を通して、仲間作りや生きがいつくりを図るとともに、地域での活動を促進するために、高齢者に気軽に参加できる講座を開催した。 「やすらぎ学級(講座10回開催。参加者延べ人数371人)及びサークル活動の推進」地域の各組織・団体、行政職員等と一緒に命や人権を大切にしている取り組み「人権講座(2回開催。参加者延べ人数93人)」を実施した。	学習活動やグループ活動を通して仲間作りや生きがいつくりを図れた。また人権講座を開催することにより命の大切さを再認識し自殺対策に繋がる取り組みが出来た。	学習活動やグループ活動を通して、仲間作りや生きがいつくりを図るとともに、地域での活動を促進する。また、高齢者には、気軽に参加できる講座を開催。 「やすらぎ学級(講座10回)(サークル活動の推進)」 地域の各組織・団体、行政職員等と一緒に命や人権を大切にしている取り組み「人権講座(2回)」を実施予定。	玉川市民センター
22	企業内同和教育推進事業	企業内における同和教育をはじめとする人権教育の推進を図るため、企業啓発指導員を配置するとともに各種研修会を開催し、また、7月を「なくそう就職差別 企業内公正採用・人権啓発推進月間」として、「差別のない明るい職場づくり」のため、各企業(事業所)を訪問するなどの事業を実施する。	企業啓発指導員を配置するとともに各種研修会を開催し、また、7月を「なくそう就職差別 企業内公正採用・人権啓発推進月間」として、「差別のない明るい職場づくり」のため、各企業(事業所)を訪問するなどの事業を実施した。 研修会開催回数:5回、参加事業所数:275社 事業所訪問数:288社	研修の開催や事業所訪問の他に、企業内同和教育啓発誌『しんらい』を発行するなどし、各企業に啓発活動を行っている。	企業内における同和教育をはじめとする人権教育の推進を図るため、企業啓発指導員を配置するとともに各種研修会を開催し、また、7月を「なくそう就職差別 企業内公正採用・人権啓発推進月間」として、「差別のない明るい職場づくり」のため、各企業(事業所)を訪問するなどの事業を実施する。	商工観光労政課
23	命、人権を大切にしたい保育・教育の計画と実践	公立幼稚園、保育所において、様々な取り組みを通じ、自分や周りの人(人権)を大切にすることを育てると共に、動植物とのふれあいを通じて命の大切さ、尊さを感じるなど豊かな感性の育成を目指して保育・教育を進める。 また、これらの取組について、家庭・地域と連携するように努める。	栽培活動、飼育活動を通して命の大切さ、尊さを感じられるよう教育・保育の工夫を行った。また地域と連携した活動によって様々な人々との交流を行い、助け合い、支え合うことの大切さなど豊かな感性の育成に努めた。これらの取り組みを保護者と共に行ったり、様子を知らせたりすることによって地域との連携も行った。	地域との連携した活動の中で、交流や多くの支援により、子どもたちの豊かな感性の育成につながっている。これらの取組をより充実させて感性に働きかけ、心を揺さぶる感動体験につながる保育・教育の工夫をしていく。	公立幼稚園・保育所、認定こども園において、自分や周りの人(人権)を大切にすることを育てると共に動植物とのふれあいを通じて命の大切さ、尊さ、食育、感謝のきもちなど豊かな感性の育成を目指して保育・教育を進める。またこれらの取組について家庭と地域と連携していくように努める。	幼児課
24	少年相談	少年に関する相談をカウンセラーや職員が電話や面接で相談を行う。	相談件数は984件(前年度比+280件)だった。相談方法の内訳は電話による相談が延べ410件、面談による相談が延べ574件だった。	相談件数が増加。特に直接面談による相談が大きく増加。深刻なケースもあり、今後も継続の必要あり。	少年に関する相談をカウンセラーや職員が電話や面接で行う。	草津市立少年センター
25	いのちや人権を大切にしたい教育の充実	中学校区ごとに中学校区別人権教育実践交流会を開催し、校園所や地域と連携しながら、いのちや人権を大切にしたい子どもの育成に努める。	中学校区別人権教育実践交流会の開催 ・高穂中学校区…会場:志津幼稚園、参加者:176人 ・草津中学校区…会場:草津小学校、参加者:57人 ・老上中学校区…会場:第三保育所、参加者:53人 ・玉川中学校区…会場:玉川中学校、参加者:85人 ・新堂中学校区…会場:新堂中学校、参加者:105人 ・松原中学校区…会場:笠縫幼稚園、参加者:51人	○同一中学校区内の保育所、幼稚園、小・中・高等学校における同和教育を核とした人権教育の実践を交流し、教材や指導方法等についての研究協議を行うことができた。 ○確かな人権意識の基盤となる学力の向上や基本的生活習慣の確立に向けて、同一中学校区で共通した取組を進めることができた。	中学校区ごとに中学校区別人権教育実践交流会を開催し、校園所や地域と連携しながら、いのちや人権を大切にしたい子どもの育成に努める。 【中学校区別人権教育実践交流会の開催】 ・高穂中学校区、草津中学校区、老上中学校区、玉川中学校区、新堂中学校区、松原中学校区、各1回ずつ開催予定	学校教育課

② こころの健康づくりについての啓発

具体的な取り組み名		平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
新3	働き方改革促進事業として、セミナーを開催する。				市内事業所・団体の経営者・管理職、人事・労務担当者を対象に働き方改革セミナーを開催し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進することにより、男女がともに働きやすい職や長時間労働の是正を図り、健全な心身状態を維持することを目指す。	男女共同参画室
新4	【再掲】 やすらぎ学級				新1と同じ	老上西市民センター
26	【再掲】 仲間づくりや生きがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	13と同じ	13と同じ	13と同じ	13と同じ	矢倉市民センター
27	【再掲】 やすらぎ学級	14と同じ	14と同じ	14と同じ	14と同じ	老上市民センター
28	公民館開放サロン「なかよしピンポン」「囲碁・将棋サロン」	だれでも自由にご利用いただける開放サロンとして開設。「なかよしピンポン」第1, 3, 5 火曜日 9時~12時「囲碁・将棋サロン」毎週火曜日 午後1時~5時	だれでも自由にご利用いただける開放サロンとして開設。「なかよしピンポン」第1, 3, 5 火曜日、「囲碁・将棋サロン」毎週火曜日を開催した。	気軽に誰でも参加できるサロンとして集える場となっている。子どもたちに、もっと教えたいという声があがった。	だれでも自由にご利用いただける開放サロンとして開設。「なかよしピンポン」第1, 3, 5 火曜日 午前9時~12時「囲碁・将棋サロン」毎週火曜日 午後1時~5時「はじめての囲碁・将棋サロン」毎週土曜日 午前10時~12時	老上市民センター
29	高齢者等のつどい事業	福祉をテーマに年間3回つどい事業を展開する。	「パソコン講座」を3回行った。のべ27名参加。	好評であった。	年間3回つどい事業を展開する。	老上市民センター
30	【再掲】 いきがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	17と同じ	17と同じ	17と同じ	17と同じ	南笠東市民センター
31	【再掲】 いきがいづくりの取り組み 公民館講座の取り組み	20と同じ	20と同じ	20と同じ	20と同じ	笠縫東市民センター
32	精神保健啓発委託事業	精神障害者が安心して暮らせる地域づくりに関わる講演会を開催する。実施は、草津市精神障害者家族会ひまわりの会へ委託して行う。	計画どおり業務委託し、講演会を開催した。	新聞等に取り上げられ、関係者のみではなく広く一般にも周知できたので、一定の啓発効果はあったと考えられる。	精神障害者が安心して暮らせる地域づくりに関わる講演会を開催する。実施は、草津市精神障害者家族会ひまわりの会へ委託して行う。	障害福祉課
33	みんなでトークでのこころの健康についての啓発	みんなでトークの依頼時(随時)に、「自殺ゼロに向けて」と題してゲートキーパー養成、こころの健康づくり等の内容にて話し、啓発を行う。	依頼なし	「草津市自殺対策行動計画」というテーマが固く、市民が入りづらい可能性がある。テーマを親しみを持てるものに変更し、自殺ゼロに向けた啓発を行う。	みんなでトークのテーマを「こころの健康〜ゲートキーパーを知っていますか?〜」とし、依頼があればゲートキーパー養成やこころの健康づくり等の内容について話し、啓発を行う。	健康増進課
34	健康教育等出前講座でのこころの健康づくりについての啓発	出前講座依頼時(随時)にゲートキーパー養成、こころの健康づくり等の内容にて話し、啓発を行う。	実施回数:1回 対象人数:34人 精神疾患や対応についてをテーマに実施。	精神疾患と関わり方について話し、その中でこころの健康に関する啓発を行うことができた。	出前講座依頼時(随時)にゲートキーパー養成、こころの健康づくり等の内容にて話し、啓発を行う。	健康増進課
35	自殺予防デーの街頭啓発	9月10日 南草津駅前広場等にて啓発を実施する。	9月10日 南草津駅前広場等にて啓発を実施。関係課長、自殺対策担当者にて、相談窓口リーフレットとともに啓発物品を配布	草津駅では草津保健所により該当啓発が行われていたため、南草津駅で実施したことで通勤・通学中の多くの市民に啓発することができた。	9月10日~16日(自殺予防週間)内の1日、南草津駅前広場等にて啓発を実施する。	健康増進課
36	こころの健康づくりの周知啓発	広報、ホームページ、掲示板等にて随時、こころの健康づくりの周知啓発を実施する。	広報くさつ記事掲載 ・9月1日号特集「自殺者数ゼロへ! 悩みを抱えず、まず相談」 ・12月15日号こころには保健師です「アルコール依存症って?」 ・3月1日号インフォメーション「自殺対策強化月間」 ・3月15日号こころには保健師です「ストレスに早く気づいて対処しましょう」 市ホームページにて「自殺予防」随時更新し、広報掲載内容や「こころの健康診断」掲載。	多くの市民の目に触れる広報紙やホームページにおいて記事掲載を行い、こころの健康やアルコール、自殺予防の正しい情報を周知することができた。	広報、ホームページ、掲示板等にて随時、こころの健康づくりの周知啓発を実施する。	健康増進課
37	母子健康手帳交付時における健康づくりに関する啓発	母子健康手帳交付時に健康づくりに関する啓発を行う。	母子健康手帳交付時に、妊娠リスクスコア自己評価の活用についての声かけを実施。また、妊娠した気持ちを表すフェイスマーク(5段階)や健康状態の確認をし、心身の健康状態把握を行った。フェイスマーク4・5の人(悲しいフェイスを選んだ人)には、窓口・電話・訪問により、保健師が個別相談を実施するよう努めた。母子手帳発行数:1334件(多胎・転入除く) フェイスマーク4・5の人:13件(多胎、転入含む)	妊娠中や産後の健康づくりに関する啓発が必要であり、妊娠届時に専門職による相談の充実が必要。	子育て相談センターを開設し、母子健康手帳交付時に全妊婦に対して、助産師、保健師等が相談を実施し、妊娠中や産後の健康づくりに関する啓発を行う。	健康増進課
38	すこやか訪問事業(育児等支援家庭訪問事業)	子育て中の保護者、乳児等に対し訪問を行い、親子の心身の状況や養育環境を把握し、子育て支援サービスの情報を提供することにより、育児に係る不安や孤立感を和らげるとともに、健全な育児環境づくりを行う。	対象者1314人に対し、1251人(95%)へのすこやか訪問を実施した。すこやか訪問時を通して、親子の心身の状況や育児不安等がある人を把握するとともに、支援サービスの情報を提供し、孤立感を和らげた。	対象者の約95%に訪問できており、育児に係る不安の軽減につながっている。	子育て中の保護者、乳児等に対し訪問を行い、親子の心身の状況や養育環境を把握し、子育て支援サービスの情報を提供や、育児に係る不安や孤立感を和らげるとともに、健全な育児環境づくりを行う。(子ども子育て推進室から健康増進課に所管替え)	健康増進課
39	子育て支援センター運営事業	家庭または地域における子育て機能の低下、子育てをしている親の孤独や不安の増大等の問題を解決するため、子育てをしている親子の交流等を支援することにより、子育ての不安を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する。	特別講座、妊婦教室、父親教室、ツインフレンズなどを開催し、親子に交流や気持ちをリフレッシュしてもらえる場を提供した。	子育てをしている親子の交流等の支援を通じて、子育ての不安を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することができた。	家庭または地域における子育て機能の低下、子育てをしている親の孤独や不安の増大等の問題を解決するため、子育てをしている親子の交流等を支援することにより、子育ての不安を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する。	子ども子育て推進室

40	一人ひとりを大切にしたい保育・教育の実践	公立幼稚園、保育所において、様々な取り組みを通じ、自分や周りの人(人権)を大切にすることを育て、命の大切さ、尊さを感じるなど豊かな感性の育成を目指すと共に、個々の子どもを受け止め、寄り添いながら一人ひとりを大切にしたい保育・教育を進める。また、子育て支援を必要としている家庭が年々増加傾向にあるため、保護者の思いにも寄り添い共に考えたり必要な支援が出来るように努めたりしながら、家庭・地域と連携する。	年間を通して様々な場面で自分や周りの人(人権)を大切にすることを育て、命の大切さ尊さを感じられるような保育・教育実践を行った。特に子どもを丁寧に受け止め、寄り添いながら一人ひとりを大切にしたい保育・教育を進める。また、保護者へは各相談事業の案内等を施設内に掲示したり、子どもの姿をもとにした啓発紙を発行した。必要に応じて保護者と懇談し家庭と連携した子育て支援に努めた。	人権を大切にすることを育て、実践を行い、子どものきもちや行動をより丁寧に受け止め、寄り添うことが大切であるので今後も必要な相談支援がその都度丁寧にできるよう職員が研鑽し共通理解して取り組む。	公立幼稚園、保育所、認定こども園において様々な取り組みを通して自分や周りの人(人権)を大切にすることを育て命の大切さ、尊さを感じるなど豊かな感性の育成を目指すと共に個々の子どもを受け止め寄り添いながら一人ひとりを大切にしたい保育・教育を進めている。また子育て支援を必要とする方が増加傾向にある。保護者の思いに寄り添い共に考えたり、必要な支援ができるよう家庭・地域・関係機関と連携していけるようにする。	幼児課
41	【再掲】いのちや人権を大切にしたい教育の充実	25と同じ	25と同じ	25と同じ	25と同じ	学校教育課
42	草津市民生委員児童委員協議会事務局	事務局担当の職員を配置し、毎月1回、総務会、必要に応じて総務委員会を開催。また、市社協職員が5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が有効に機能するように支援し、学区担当制による情報提供やアドバイスをし、個別援助活動が円滑にできるよう民生委員児童委員活動を支援・協力する。	毎月23日を定例として総務会、必要に応じて総務委員会を開催し、単位民児協の活動を支援した。また、市民児協に組織されている部会(5部会2委員会1連絡会)ごとに担当職員がつき、細やかに対応できるような体制で部会が有効に機能するよう支援した。この他、関係機関と連携し、民生委員・児童委員に必要な情報提供やアドバイスをし、個別援助活動が円滑に行われるように支援・協力した。	部会・委員会・連絡会が有効に機能するように支援したが、あまり動いていない部会もあったので、28年度はどの部会も活発に動けるように支援していきたい。	事務局担当の職員を配置し、毎月1回、総務会、必要に応じて総務委員会を開催します。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が有効に機能するように支援し、学区担当制による情報提供やアドバイスをし、個別援助活動が円滑にできるよう民生委員児童委員活動を支援・協力する。	草津市社会福祉協議会

③ 青少年健全育成の取り組み

具体的な取り組み名		平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
43	【再掲】仲間づくりや生きがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	13と同じ	13と同じ	13と同じ	13と同じ	矢倉市民センター
44	青少年健全育成活動	草津市青少年育成市民会議の活動支援を行うことで、市域の青少年健全育成活動の推進を図る。 (草津市青少年育成市民会議の主な活動) ・青少年の主張発表大会の事業実施により、自分を見つめ、夢や希望の実現に向けて考える場の提供を行い、成長するための一助とする。 ・各学区においてパトロール、挨拶運動等取り組みをされることから、身近な存在の見守りや支えがあることで自殺対策につなげる。	草津市青少年育成市民会議の活動支援を通じ、青少年を支える一助となった。 (草津市青少年育成市民会議の主な活動) ・青少年の主張発表大会：(作品応募4,046点)市内中学、高等学校から夢や皆に訴えたい思いを作文として募集し、入選した中学生7人、高校生1人による作文発表会を行った。自分の思いを人に伝える大切さ、喜び、自己を振り返るきっかけとして、有意であった。 ・各学区においてパトロール、挨拶運動等を実施された。「見せる」ことで身近な存在の見守りや支えがあることの認識につなげ自殺対策につなげた。	成果を数値で評価することはできないが、声かけパトロールなどを通じた見守りは、地域をつなぎ支えあうための大きな役割を果たしている。	草津市青少年育成市民会議の活動支援を行うことで、市域の青少年健全育成活動の推進を図る。 (草津市青少年育成市民会議の主な活動) ・青少年の主張発表大会の事業実施により、自分を見つめ、夢や希望の実現に向けて考える場の提供を行い、成長するための一助とする。 ・各学区においてパトロール、挨拶運動等取り組みをされることから、身近な存在の見守りや支えがあることで自殺対策につなげる。	生涯学習課
45	【再掲】少年相談	24と同じ	24と同じ	24と同じ	24と同じ	草津市立少年センター
46	【再掲】草津市民生委員児童委員協議会事務局	42と同じ	42と同じ	42と同じ	42と同じ	草津市社会福祉協議会

④ 小中学校における「児童会・生徒会活動」の取り組み

具体的な取り組み名		平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
47	児童会・生徒会活動の推進	各小・中学校において、支え合う仲間づくりを中心とした児童会・生徒会活動を推進する。	いじめ撲滅に向けた取組として、児童生徒会が中心となりいじめの寸劇を行ったり、中学校では、生徒会が中心となりSNSによるいじめをなくすためにスマートフォン使用のルール作りを行った。	児童生徒自らが仲間への思いやりや、仲間の大切さを考えられるようになった。	各小・中学校において、支え合う仲間づくりを中心とした児童会・生徒会活動を推進する。	学校教育課

⑤ うつ等の精神疾患や自殺対策の必要性についての普及啓発

具体的な取り組み名		平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
48	【再掲】精神保健啓発委託事業	32と同じ	32と同じ	32と同じ	32と同じ	障害福祉課
49	【再掲】こころの健康づくりの周知啓発	36と同じ	36と同じ	36と同じ	36と同じ	健康増進課

⑥ いきがいづくりの取り組み

具体的な取り組み名		平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
50	【再掲】 仲間づくりや生きがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	9と同じ	9と同じ	9と同じ	9と同じ	志津市民センター
51	【再掲】 いきがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	10と同じ	10と同じ	10と同じ	10と同じ	志津南市民センター
52	生きがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	「やすらぎ学級」「人権講座」「地域課題学習講座」等の公民館講座を開催し、仲間づくりや生きがいを見出し、地域での活動を促進する。	各種講座等を通じて、仲間づくりや生きがいを見出す公民館講座を開催した。「やすらぎ学級」(10回(1回中止))、「人権講座」(2回)、「地域課題学習講座」(3回)、「さむしんぐ」(10回)開催	各種講座等を積極的に啓発をおこない受講者の増加に努めるとともに、講座についても、受講者同士の交流を深める内容として、地域で孤立しない仕組みづくりを推進しました。	「やすらぎ学級」「人権講座」「地域課題学習講座」「さむしんぐ」等の公民館講座を開催し、仲間づくりや生きがいを見出し、地域での活動を促進する。	草津市民センター
53	【再掲】 いきがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	11と同じ	11と同じ	11と同じ	11と同じ	大路市民センター
54	【再掲】 仲間づくりやいきがいづくりの取り組み	12と同じ	12と同じ	12と同じ	12と同じ	渋川市民センター
55	【再掲】 やすらぎ学級	14と同じ	14と同じ	14と同じ	14と同じ	老上市民センター
56	【再掲】 公民館開放サロン「なかよしピンポン」「囲碁・将棋サロン」	28と同じ	28と同じ	28と同じ	28と同じ	老上市民センター
57	【再掲】 高齢者等のつどい事業	29と同じ	29と同じ	29と同じ	29と同じ	老上市民センター
58	【再掲】 自主教室	16と同じ	16と同じ	16と同じ	16と同じ	老上市民センター
59	【再掲】 いきがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	17と同じ	17と同じ	17と同じ	17と同じ	南笠東市民センター
60	【再掲】 仲間づくりや生きがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	18と同じ	18と同じ	18と同じ	18と同じ	山田市民センター
61	【再掲】 仲間づくりや生きがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	19と同じ	19と同じ	19と同じ	19と同じ	笠縫市民センター
62	【再掲】 いきがいづくりの取り組み 公民館講座の取り組み	20と同じ	20と同じ	20と同じ	20と同じ	笠縫東市民センター
63	仲間づくりや生きがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	仲間づくりや生きがいづくりを図ることを目的とした講座を開催。「やすらぎ学級：6回(他にサークル活動)」「高齢者のつどい：9回」「高齢者講座：3回」「人権講座：2回」実施。	各参加者人数：やすらぎ学級全体講座310人、高齢者つどい・講座212人、人権講座190人 合計712人の参加者。他にやすらぎ学級サークル活動入会者179人が、月2回～4回活動。	予定通りに実施できた	平成28年度も27年度とほぼ同様の高齢者を対象とした講座を予定している	常盤市民センター
64	【再掲】 仲間づくりや生きがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	21と同じ	21と同じ	21と同じ	21と同じ	玉川市民センター
65	市民スポーツ大会の開催等	駅伝競走大会やチャレンジスポーツデー等スポーツ大会の開催や開催支援を行い、広く市民の参加を促すことで、いきがいづくりや、居場所づくりを進めていく。	チャレンジスポーツデー 参加者数：5,706人 駅伝競走大会 参加チーム数：142チーム(参加者数：923人) スポーツクリエイション祭 参加者数：895人	駅伝競走大会やチャレンジスポーツデー等スポーツ大会の開催や開催支援を行った結果、多くの市民に参加いただいた。スポーツを通したいきがいづくりや、居場所づくりにつながった。	駅伝競走大会やチャレンジスポーツデー等スポーツ大会の開催や開催支援を行い、広く市民の参加を促すことで、いきがいづくりや、居場所づくりにつなげていく。	スポーツ保健課
66	地域サロン活動支援	身近な地域で社会参加が困難となった高齢者や閉じこもりがちな高齢者が孤立・孤独に陥らないよう参加者とボランティアが企画、運営するふれあいの場の活性化と、新たな立ち上げに対し支援し、企画の助言や調整、情報提供を行う。	地域サロン活動を通して、高齢者の見守り活動を推進し、身近な場所で支えあう関係づくりができるよう、サロン活動の拡充に努めた。 ・地域サロングループ数：140グループ(平成28年3月31日現在)	サロンに関する相談支援はもちろん、当年度は地域サロンを対象としたとく・得バスツアーの実施や、地域サロンアンケート調査報告書の作成などを通じた、サロン活動の活性化の支援を行った。	地域サロン活動を通じて高齢者の見守り活動を推進し地域で住民同士が支えあう関係づくりを進めるため活動を支援する。また、地域サロン活動の悩みや課題に対して支援する。さらに、新規に立ち上げたところを中心に訪問する。	草津市社会福祉協議会
67	地域福祉権利擁護事業	判断能力が充分でないため、毎日の暮らしの中で福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援している。	平成27年度末契約人数：43人 平成27年度支援・相談件数：1,351件 ケース会議やカンファレンスに随時参加	金銭的な不安を軽減し、日々の生活を穏やかに送ってもらえるよう専門員と支援員が連携し、支援を行った。	昨年度同様に実施していく。	草津市社会福祉協議会
68	独居高齢者電話訪問事業	援助が必要な70歳以上のひとり暮らし高齢者に対し、傾聴ボランティアが電話訪問することで孤立・孤独を防げるよう支援している。また、民生委員・児童委員と協力し日常的な見守り活動を実施している。	傾聴ボランティアにより電話で独居高齢者に対し話し相手となることにより、孤立・孤独に陥らない様見守った。担当民生委員児童委員とも連携した。 傾聴ボランティア連絡会を月一回開催し、電話の報告を受け精神保健福祉士による助言を行い、スキルアップにつなげた。 電話訪問回数：150件	民生委員等の協力により、電話訪問のチラシを配布することで事業の啓発に努め、新規利用(4件)も増え、毎月の電話訪問を喜んでもらった。	昨年度同様に実施していく。	草津市社会福祉協議会
69	地域支え合い運送支援事業	学区の社会福祉協議会やまちづくり協議会が主体となって実施する移動困難者の運送支援事業を支援している。	・山田学区、志津南学区の2学区で実施。(平成26年～) ・平成27年度、新たに事業を実施する学区はなかった。 ・事業啓発のため、広報で事業の紹介を行った。 ・安心、安全に事業を実施してもらうこと、また、新たな事業実施を検討している学区の参考になることを目的とした安全運転講習会兼研修会を開催した。(23人参加)	平成27年度、新たに事業を実施した学区はなかったが、平成26年度から実施している2学区(山田学区、志津南学区)については、徐々に事業が地域の中に定着し、住民同士をつなぐ、きっかけとなっている。	平成27年度、新たに事業を開始する学区はなく、平成28年度に実施を希望する学区もない状況であるが、事業実施を検討されている学区もあるため、学区ごとに状況を確認し、円滑に事業実施できるよう、継続して支援していく。	草津市社会福祉協議会
70	福祉車両貸出事業	ひとりでは外出が困難な高齢者や障害者の生活の安全を図るため、福祉車両を貸し出す。また、必要に応じて送迎ボランティアとの受給調整も行っていく。平成27年度については車輛の更新を行い、更に快適に利用してもらえるようになっている。	○送迎回数(年度途中から車両が新しくなりました。) ①ワゴンR/タント1号 100回 ②デミオ/タント2号 203回 ○送迎ボランティア数 8人 ○送迎依頼者数 13人	送迎依頼者が少なくなっているため、地域で外出困難な方に利用いただけるよう周知を行っていく必要がある。	昨年度同様に実施していく。	草津市社会福祉協議会
71	高齢者介護者リフレッシュ事業	介護者のリフレッシュを目的に、介護者同士の交流・情報交換のできる場づくりを支援している。1回実施予定	1回実施 場所：草津市立なごみの郷 内容：懇談会やアロマハンドマッサージ、ビンゴ、ギター演奏など 参加者：10人	懇談会や屋食時の交流ではそれぞれの介護の悩みや想いを話され、「他の参加者の話が参考になった」との声も聞かれた。	参加者の減少により、今年度から廃止とする。	草津市社会福祉協議会

■基本方針2. こころの健康づくりをすすめます
 ■基本方針3. 一人ひとりの気づきと主体的な取り組みをすすめます

・基本施策(4) 孤立化しない地域づくりを行う

① 地域、学校、職域での孤立化防止対策

具体的な取り組み名	平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
72 【再掲】 仲間づくりや生きがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	9と同じ	9と同じ	9と同じ	9と同じ	志津市民センター
73 【再掲】 仲間づくりやいきがいづくりの取り組み	12と同じ	12と同じ	12と同じ	12と同じ	渋川市民センター
74 【再掲】 いきがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	17と同じ	17と同じ	17と同じ	17と同じ	南笠東市民センター
75 【再掲】 仲間づくりや生きがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	18と同じ	18と同じ	18と同じ	18と同じ	山田市民センター
76 【再掲】 仲間づくりや生きがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	19と同じ	19と同じ	19と同じ	19と同じ	笠縫市民センター
77 【再掲】 仲間づくりや生きがいづくりの取り組み 公民館講座の実施	21と同じ	21と同じ	21と同じ	21と同じ	玉川市民センター
78 孤立化防止対策事業	民生委員・児童委員等の地域の支援者に相談活動や見守り活動を依頼するとともに、NPO法人に事業を委託し、サロン開催や対象世帯への訪問等を行う。	概ね計画通り実施した。この事務を行う嘱託職員の募集を試みたが応募者がなかった。	委託先や民生委員等より事業全体の方向性が見えない、訪問時の詳細な対応方法がわからない等の課題をいただいている。	左記課題を解決し、嘱託職員を雇用したうえで、民生委員・児童委員等の地域の支援者に相談活動や見守り活動を依頼するとともに、NPO法人に事業を委託し、サロン開催や対象世帯への訪問等を行う。	障害福祉課
79 こころの健康に関しての相談	こころの健康に関する相談を希望する者に対し、保健師が個別に電話や面接等で相談を実施していく。対象が孤立しないよう、地域や関係機関との連携をはかり支援をすすめる。	こころの健康に関する相談を希望する者に対し、保健師が個別に電話や面接等で相談を実施した。 精神保健相談件数 訪問 461件 電話 573件 面接 225件 連絡調整件数1,648件、うちケース会議件数164件	民生委員や町内会との連携を図りながら、地域での見守りができるよう、相談支援を進めていくケースもあった。地域で孤立せず暮らしていけるよう、今後も地域を含めた関係者との連携を密に図っていくことが必要。	こころの健康に関する相談を希望する者に対し、保健師が個別に電話や面接等で相談を実施していく。対象が孤立しないよう、地域や関係機関との連携をはかり支援をすすめる。	健康増進課
80 健康推進員、民生委員・児童委員との連携	健康推進員、民生委員・児童委員と連携し、育児における孤立化の防止を図る。	健康推進員養成講座で、地域における見守りについて、健康推進員ができることについて考える機会をもった。また、健康推進員に委託している事業「離乳食レストラン」を地域で開催し、地域で親子が交流できる場を提供した。民生委員・児童委員と連携し、地域において見守りが必要な家庭に関しては子育てサロン等の利用について声かけを行った。	健康推進員の中で、見守りが必要だと感じる家庭や人と触れ合う機会がある方も多く、自分ならどうするか、どのように対応すればよいかなど理解を深めることができた。今後も継続して学びの機会を設けると、より地域に密着した孤立化の防止に繋げることができる。	健康推進員、民生委員・児童委員と連携し、育児における孤立化の防止を図る。	健康増進課
81 学区の医療福祉を考える会議	前年度に引き続き、他の学区でも開催にむけて準備を行い、H27、28年度で全学区の開催を予定。	学区の医療福祉を考える会議の開催（H27年度は7学区で実施）	今年度、新規に4学区で開始できた。	実施学区については、継続実施。未実施学区については、開催に向け働きかける。	長寿いきがい課
82 つどいの広場事業	子育て親子がいつでも気軽に集い、子育ての悩み等を相談できる環境をつくるため、常設のつどいの広場を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図る。	各中学校区においてつどいの広場等の子育て支援施策を開設しており、子育て親子が気軽に集い、悩みを相談できる環境づくりを行った。	つどいの広場において、子どもの成長や健康などの育児について語り合い、相談や交流するための場を提供することができた。	子育て親子がいつでも気軽に集い、子育ての悩み等を相談できる環境をつくるため、常設のつどいの広場を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図る。	子ども子育て推進室
83 【再掲】 すこやか訪問事業(育児等支援家庭訪問事業)	38と同じ	38と同じ	38と同じ	38と同じ(子ども子育て推進室から健康増進課に所管替え)	健康増進課
84 【再掲】 子育て支援センター運営事業	39と同じ	39と同じ	39と同じ	39と同じ	子ども子育て推進室
85 ファミリー・サポート・センター事業	地域における子育てと就労支援を行うために、育児支援を受けたい依頼会員と援助をしたい提供会員が会員組織を構成し、相互援助活動を展開する。	依頼会員と提供会員のマッチングを行い、延べ人数で3,685人の利用があり、地域における子育てと就労支援を行った。	平成26年度の延べ利用者数は3,951人であり、266人減少したため、今後、多くの方に利用いただけるよう、周知に努める。	地域における子育てと就労支援を行うために、育児支援を受けたい依頼会員と援助をしたい提供会員が会員組織を構成し、相互援助活動を展開する。	子ども子育て推進室
86 子育てサークル活動支援事業	地域ぐるみの子育てを支援する環境づくりとネットワークを促進するため、活動経費の一部を補助し、地域における子育て支援団体の育成と活動を支援する。	地域での子育て支援の環境づくりのため、36団体に対して活動費の一部を補助した。また、63団体のサークル登録を行い、市民からの問い合わせに対して紹介を行った。	登録団体の5割程度が補助金を活用しており、子育てサークルの活動の支援を行うことができた。	地域ぐるみの子育てを支援する環境づくりとネットワークを促進するため、活動経費の一部を補助し、地域における子育て支援団体の育成と活動を支援する。	子ども子育て推進室
87 共に支え合い育ち合う仲間作りの推進	生活や遊びの中で自分や周りの人(人権)を大切にすることを育てると共に互いに支え合い、育ち合う仲間づくりを目指す。また、個と集団の育ちをその都度振り返り、質の高い保育・教育を進める。これらの取り組みについて、家庭・地域と連携していくように努めていく。	発達段階に合わせて個と集団を大切に教育・保育内容を実施し、少人数から学級全体までいろいろな仲間との触れ合いを通して、仲間と一緒に楽しいという場の共有を重ね、自分の思いを出しながら相手の思いも受け止め、共に支え合い、育ち合う仲間づくりを進めた。	生活や遊びの中で様々な取組を通じ、自分や周りの人(人権)を大切にすることを育てると共に互いに支え合い育ち合う仲間づくりに進めてきた。子ども自らが自然と仲間と関わり合う、つながり合う姿を目指し、仲間とつながり、楽しみ、認め合うことで自己肯定感を高めたい。	公立幼稚園、保育所、認定こども園において自分や周りの人(人権)を大切にすることを育てると共に互いに認め合い、支えあい、育ちあう仲間づくりを目指して保育・教育を進めている。またこれらの取り組みについて家庭、地域と連携するよう努めていく。	幼児課
88 【再掲】 草津市民生委員児童委員協議会事務局	42と同じ	42と同じ	42と同じ	42と同じ	草津市社会福祉協議会

② ひきこもり(閉じこもり)対策

具体的な取り組み名		平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
89	松原学区礎プロジェクト事業	長期欠席、中途退学についてしっかりと実態を認識し、関係機関と連携をしながら取り組む。また、ひきこもり等の児童生徒とつながり、居場所を提供する取り組みを進めていく。年2回程度、児童生徒等の情報交換の場を設け、今後の手立てを探りながら具体的な取り組みに繋げ、各校園所館で居場所作りをしていく。	長期欠席、中途退学について実態を把握し、関係機関と連携した対応を行った。 また、引きこもり等の児童生徒の居場所を提供する取り組みを進めた。	個々の事例ごと丁寧な対応に心掛け、関係機関と連携を密にした中で、適切な対応が図られている。	長期欠席、中途退学について実態を把握し、個別のケース毎に関係機関と連携をしながら丁寧に対応する。 また、引きこもり等の児童生徒の居場所を提供する取り組みを進める。	新田会館
90	【再掲】仲間づくりや生きがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	9と同じ	9と同じ	9と同じ	9と同じ	志津市民センター
91	【再掲】仲間づくりやいきがづくりの取り組み	12と同じ	12と同じ	12と同じ	12と同じ	渋川市民センター
92	【再掲】いきがづくりの取り組み 公民館講座の実施	17と同じ	17と同じ	17と同じ	17と同じ	南笠東市民センター
93	【再掲】仲間づくりや生きがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	19と同じ	19と同じ	19と同じ	19と同じ	笠縫市民センター
94	【再掲】仲間づくりや生きがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	21と同じ	21と同じ	21と同じ	21と同じ	玉川市民センター
95	こころの健康に関する相談	こころの健康に関する相談を希望する者、ひきこもり者等に対し、保健師が個別に電話や面接等で相談を実施していく。	こころの健康に関する相談を希望する者に対し、保健師が個別に電話や面接等で相談を実施した。 精神保健相談件数 訪問 461件 うち、ひきこもり58件 電話 573件 うち、ひきこもり165件 面接 225件 うち、ひきこもり49件	相談を受けたり、必要な関係機関への繋ぎを行うことで、ケースが孤立せず、社会との繋がりを持つことに繋がっている。今後も引き続き、ケースの社会参加に繋がるような相談支援を継続していくことが必要。	こころの健康に関する相談を希望する者、ひきこもり者等に対し、保健師が個別に電話や面接等で相談を実施していく。	健康増進課
97	【再掲】つどいの広場事業	82と同じ	82と同じ	82と同じ	82と同じ	子ども子育て推進室
98	【再掲】地域サロン活動支援	66と同じ	66と同じ	66と同じ	66と同じ	草津市社会福祉協議会
99	生活つなぎ資金貸付	寄り添い型支援を目指し、民生委員児童委員と連携して、一時的に生活困難に陥った世帯に生活のつなぎとして資金をお貸しし、生活支援を行っている。	貸付件数:57件 貸付額:2,595,000円	食べる物が無かったり、ライフラインが止まりそうな方の生活が安定するまでのつなぎの役割を果たせた。	昨年度同様に実施していく。	草津市社会福祉協議会
100	生活福祉資金貸付	失業や減収等により生計の維持が困難になり、生活再建のため継続的な相談支援を必要とする世帯に対し、生活費及び一時的な資金の貸付を行うことにより自立を支援し、世帯の自立を図ることを目的とし、支援している。	総合支援資金:2件 緊急小口資金:2件 福祉費:4件 教育支援資金:12件	失業者への支援はもとより、進学の夢を持つ若者が経済的理由で進学できないという事態を免れることができた。	昨年度同様に実施していく。	草津市社会福祉協議会
101	【再掲】草津市民生委員児童委員協議会事務局	42と同じ	42と同じ	42と同じ	42と同じ	草津市社会福祉協議会
102	【再掲】独居高齢者電話訪問事業	68と同じ	68と同じ	68と同じ	68と同じ	草津市社会福祉協議会
103	【再掲】地域支え合い運送支援事業	69と同じ	69と同じ	69と同じ	69と同じ	草津市社会福祉協議会
104	【再掲】福祉車両貸出事業	70と同じ	70と同じ	70と同じ	70と同じ	草津市社会福祉協議会
105	【再掲】高齢者介護者リフレッシュ事業	71と同じ	71と同じ	71と同じ	71と同じ	草津市社会福祉協議会

③ いきがいや社会とのつながり、居場所づくりの取り組み

具体的な取り組み名		平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
106	隣保館デイサービス事業の実施	月曜日から土曜日まで、交流サロンを開放し高齢者の居場所づくりを行う。 地域の高齢者福祉の向上を図るため、高齢者の生きがいがづくりの一助となるような、社会生活訓練等の体験学習や創作活動等を指定管理者制度を導入し実施する。	月曜日から土曜日まで、交流サロンを開放し高齢者の居場所づくりを行った。 地域の高齢者福祉の向上を図るため、高齢者の生きがいがづくりの一助となるような、社会生活訓練等の体験学習や創作活動等を指定管理者が実施した。 デイサービス事業 年47回	高齢者の居場所づくり、生きがいがづくりの一助となるような施策を実施することができた。	月曜日から土曜日まで、交流サロンを開放し高齢者の居場所づくりを行う。 地域の高齢者福祉の向上を図るため、高齢者の生きがいがづくりの一助となるような、社会生活訓練等の体験学習や創作活動等を指定管理者により実施する。	西一会館
107	隣保館デイサービス事業の実施	月曜日から土曜日まで、高齢者の居場所作りのために、交流サロンを開放する。 また、創作活動の教室等、高齢者の生きがいがづくりや交流の機会づくりとなるような事業を地元のNPO法人に委託し、実施する。 編物教室20回、カラオケ教室10回、おいでやすサロン10回、給食・配食事業10回、お弁当の時間ですよ48回、いきいき講座10回	月曜日から土曜日まで、高齢者の居場所作りのために、交流サロンを開放した。 また、創作活動の教室等、高齢者の生きがいがづくりや交流の機会づくりとなるような事業を地元のNPO法人に委託し、実施した。 編物教室20回、カラオケ教室10回、おいでやすサロン10回、給食・配食事業10回、お弁当の時間ですよ42回、いきいき講座10回	高齢者の生きがいがづくりや居場所づくりとなるような講座や教室を実施し、社会とのつながりをもって孤立しない地域づくりを行った。	月曜日から土曜日まで、高齢者の居場所作りのために、交流サロンを開放する。 また、創作活動の教室等、高齢者の生きがいがづくりや交流の機会づくりとなるような事業を地元のNPO法人に委託し、実施する。 編物教室20回、カラオケ教室10回、おいでやすサロン10回、給食・配食事業10回、いきいき講座10回	橋岡会館
108	隣保館デイサービス事業の実施	月曜日から土曜日まで、高齢者の居場所作りのために、新田会館の交流サロンを開放している。高齢者等の健康福祉向上の一環として、食事サービスを拡大する。 また、創作やお誕生日会、会食、健康教室、地域福祉事業等を実施して、地域から孤立しないように努めていく。	月曜日から土曜日まで新田会館デイサービス事業の中で交流サロンを解放し、高齢者の居場所作り・交流増進に取り組んだ。 また、創作やお誕生日会、健康教室等の地域福祉事業により、高齢者の孤立防止に取り組んだ。	地域のNPO、ボランティアと連携し、高齢者の居場所作り・交流増進を図るとともに、各種講座を通して孤立防止に取り組むことができています。	交流サロンを解放し、高齢者の居場所作り・交流増進に取り組む。また、創作やお誕生日会、健康教室等の地域福祉事業により、高齢者の孤立防止に取り組む。	新田会館
109	【再掲】松原学区子ども輝き人推事業	89と同じ	89と同じ	89と同じ	89と同じ	新田会館
110	隣保館デイサービス事業の実施	月曜日から土曜日まで、高齢者の居場所作りのために、交流サロンを開放する。 また、地域から孤立しないよう、福祉講座、カラオケ教室、何でもデイ事業を、指定管理者制度を導入し実施する。	月曜日から土曜日まで、高齢者の居場所作りのために、交流サロンを開放した。 また、地域から孤立しないよう、福祉講座、カラオケ教室、うどん・モーニング提供を、指定管理者が実施した。 デイサービス事業年137回	高齢者の居場所づくり、生きがいがづくりの一助となるような施策を実施することができた。	月曜日から土曜日まで、高齢者の居場所作りのために、交流サロンを開放する。 また、地域から孤立しないよう、創作講座、カラオケ教室、うどん・モーニング提供を、指定管理者により実施する。	常盤東総合センター
111	【再掲】仲間づくりや生きがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	9と同じ	9と同じ	9と同じ	9と同じ	志津市民センター
112	【再掲】いきがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	10と同じ	10と同じ	10と同じ	10と同じ	志津南市民センター
113	【再掲】生きがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	52と同じ	52と同じ	52と同じ	52と同じ	草津市民センター
114	【再掲】いきがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	11と同じ	11と同じ	11と同じ	11と同じ	大路市民センター
115	【再掲】仲間づくりやいきがいがづくりの取り組み	12と同じ	12と同じ	12と同じ	12と同じ	渋川市民センター
116	【再掲】仲間づくりや生きがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	13と同じ	13と同じ	13と同じ	13と同じ	矢倉市民センター
117	【再掲】やすらぎ学級	14と同じ	14と同じ	14と同じ	14と同じ	老上市民センター
118	公民館開放サロン「なかよしピンポン」「囲碁・将棋サロン」	28と同じ	28と同じ	28と同じ	28と同じ	老上市民センター
119	高齢者等のつどい事業	29と同じ	29と同じ	29と同じ	29と同じ	老上市民センター
120	【再掲】いきがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	17と同じ	17と同じ	17と同じ	17と同じ	南笠東市民センター
121	【再掲】仲間づくりや生きがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	18と同じ	18と同じ	18と同じ	18と同じ	山田市民センター
122	【再掲】仲間づくりや生きがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	19と同じ	19と同じ	19と同じ	19と同じ	笠縫市民センター
123	【再掲】いきがいがづくりの取り組み 公民館講座の取り組み	20と同じ	20と同じ	20と同じ	20と同じ	笠縫東市民センター
124	【再掲】仲間づくりや生きがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	63と同じ	63と同じ	63と同じ	63と同じ	常盤市民センター
125	【再掲】仲間づくりや生きがいがづくりの取り組み 公民館講座の実施	21と同じ	21と同じ	21と同じ	21と同じ	玉川市民センター
126	【再掲】学区の医療福祉を考える会議	81と同じ	81と同じ	81と同じ	81と同じ	長寿いきがい課
127	【再掲】子育て支援センター運営事業	39と同じ	39と同じ	39と同じ	39と同じ	子ども子育て推進室
128	【再掲】子育てサークル活動支援事業	86と同じ	86と同じ	86と同じ	86と同じ	子ども子育て推進室

129	【再掲】 市民スポーツ大会の開催等	65と同じ	65と同じ	65と同じ	65と同じ	スポーツ保健課
130	心配ごと相談所	住民の皆さんの身近な暮らしのなんでも相談窓口として「心配ごと相談所」を開設している。 定例相談：月曜日～金曜日、10時～15時 法律相談：毎月第一・第三水曜日、10時～12時 2カ月に一回相談員連絡協議会を開催し、相談員同士の情報共有を図り、またスキルアップのための研修会を実施する。 ※今年度は出張相談は廃止し、市社協における相談回数を増やす。	相談件数：328件	深刻な悩み事の相談もあるが、普段の生活のなかのちょっとした世間話の聞き役としても機能しており、心の拠り所になれたと考えている。	昨年度同様に実施していく。	草津市社会福祉協議会
131	【再掲】 地域サロン活動支援	66と同じ	66と同じ	66と同じ	66と同じ	草津市社会福祉協議会
132	【再掲】 地域福祉権利擁護事業	67と同じ	67と同じ	67と同じ	67と同じ	草津市社会福祉協議会
133	【再掲】 生活つなぎ資金貸付	99と同じ	99と同じ	99と同じ	99と同じ	草津市社会福祉協議会
134	【再掲】 生活福祉資金貸付	100と同じ	100と同じ	100と同じ	100と同じ	草津市社会福祉協議会
135	【再掲】 草津市民生委員児童委員協議会事務局	42と同じ	42と同じ	42と同じ	42と同じ	草津市社会福祉協議会
136	【再掲】 独居高齢者電話訪問事業	68と同じ	68と同じ	68と同じ	68と同じ	草津市社会福祉協議会
137	【再掲】 地域支え合い運送支援事業	69と同じ	69と同じ	69と同じ	69と同じ	草津市社会福祉協議会
138	【再掲】 福祉車両貸出事業	70と同じ	70と同じ	70と同じ	70と同じ	草津市社会福祉協議会
139	【再掲】 高齢者介護者リフレッシュ事業	71と同じ	71と同じ	71と同じ	71と同じ	草津市社会福祉協議会
140	近所力アップ講座	地域に職員が向向き、より身近な福祉の専門職として、住民どうしのつながりや地域福祉活動の大切さを伝えている。	○渋川南かがやきクラブにて1回実施 人数：27人 テーマ：みんなが地域で楽しく暮らすために ○岡本町内会にて1回実施 人数：38人 テーマ：近所のつながりづくりの大切さについて	地域の方々に福祉について身近に感じていただけ、よい反応も多くいただいた講座になった。	昨年度同様に実施していく。	草津市社会福祉協議会
141	地域における交流機会の提供・参加促進	健康推進員による離乳食レストランの実施において、育児に関する情報提供を行うとともに、地域で孤立化を 방지親子が交流できる場づくりを行う。	地域で活動する健康推進員が離乳食レストランを各市民センター等で開催した。 回数：20回 人数：282人	親子が交流する場となり、その後も地域での顔なじみとなり、孤立化を防止、親子同士がつながる場となった。また、地域ならではの情報交換の場となった。	健康推進員による離乳食レストランの実施において、育児に関する情報提供を行うとともに、地域で孤立化を防止親子が交流できる場づくりを行う。	健康増進課

■基本方針3. 一人ひとりの気づきと主体的な取り組みをすすめます

■基本方針4. 自殺予防の体制づくりを行います

・基本施策(5)ゲートキーパーを養成する

① 地域住民を対象とした研修の実施

具体的な取り組み名	平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
142 市民等対象のゲートキーパー養成研修	ゲートキーパー養成研修1回開催 対象:市民、関係機関等	「気づき・つなぎ・見守る～ゲートキーパーの心得～」 講師:メーブルクリニック院長 佐藤啓二さん 参加者 122人	参加者アンケートでは8割以上が内容理解でき、5割がゲートキーパーとして行動できると感じたと回答された。より多くの市民にゲートキーパーの認識を深めてもらえるよう、継続した研修の実施が必要。	ゲートキーパー養成研修の開催(1回) 対象:市民、関係機関等	健康増進課
143 みんなでトークでのゲートキーパー養成研修	みんなでトークの依頼時(随時)に、「自殺ゼロに向けて」と題してゲートキーパー養成研修を行う。	依頼なし	「草津市自殺対策行動計画」というテーマが固く、市民が入りづらい可能性がある。テーマを親しみが持てるものに変更し、自殺ゼロに向けた啓発を行う。	みんなでトークのテーマを「こころの健康～ゲートキーパーを知っていますか?～」とし、依頼があればゲートキーパー養成やこころの健康づくり等の内容について話し、啓発を行う。	健康増進課
144 健康教育等出前講座でのゲートキーパー養成研修	出前講座の依頼時(随時)に、「自殺ゼロに向けて」と題してゲートキーパー養成研修を行う。	商工会におけるメンタルヘルス研修において、ゲートキーパー養成について実施できるよう働きかけた。研修当日は市から自殺対策について説明を行った。	精神疾患とその関わり方に関する健康教育の依頼があったが、ゲートキーパー養成研修は実施していない。今後精神に関する依頼があった場合はゲートキーパー養成研修を軸として健康教育を実施していく。	出前講座依頼時(随時)にゲートキーパー養成、こころの健康づくり等の内容にて話し、啓発を行う。 商工会においてゲートキーパー研修が実施できるよう働きかける。	健康増進課

② 各関係機関における研修への取り組み

具体的な取り組み名	平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
145 市職員の労務管理	引き続き、職員研修等を通して、各自が他の職員等の自殺のサインに気づけるような労務管理に努める。	職員(部下)等の自殺のサインに気付ける、風通しの良い職場環境を構築するよう人権に関する研修や管理職を対象とした研修などを実施した。	研修受講により、他者を思いやる気持ちや風通しのよい職場環境に関する意識の醸成が図れた。	引き続き、職員研修の実施や相談体制の整備を通じて、各自が他の職員等の自殺のサインに気づけるような労務管理に努める。	職員課
146 庁内全職員対象ゲートキーパー養成研修	ゲートキーパー養成研修2回開催 対象:庁内職員等	①「ゲートキーパー養成研修 ステップアップ編」 講師:滋賀医科大学附属病院看護師長 安藤光子さん 参加者 128人 ②「ゲートキーパー養成研修(初級編)～気づき・聴き・つなぎ・見守る～」 講師:京都文教大学臨床心理学部講師 松田美枝さん 参加者 136人	初級編とともにステップアップ編を開催したことで、参加者の9割以上が内容理解でき、6割がゲートキーパーとして行動できると感じられるなど、効果的に実施ができた。	ゲートキーパー養成研修の開催(初級編、ステップアップ編) 対象:庁内職員	健康増進課
147 市民等対象のゲートキーパー養成研修への関係機関等の職員の参加勧奨	ゲートキーパー養成研修1回開催 対象:市民、関係機関等	「気づき・つなぎ・見守る～ゲートキーパーの心得～」 講師:メーブルクリニック院長 佐藤啓二さん 参加者 122人	参加者アンケートでは8割以上が内容理解でき、5割がゲートキーパーとして行動できると感じたと回答された。より多くの市民にゲートキーパーの認識を深めてもらえるよう、継続した研修の実施が必要。	ゲートキーパー養成研修の開催 対象:市民、関係機関等	健康増進課
148 草津市教職員夏期研修講座の開催	いじめをはじめとする問題行動等の未然防止や早期発見、早期対応等について研修を深めるために、草津市内の教職員を対象とした研修講座を実施する。	いじめをはじめとする問題行動等の未然防止や早期発見、早期対応等について研修を深めるために、草津市内の教職員を対象とした研修講座を2回実施した。「不登校・長期欠席が起こりにくい学校づくり」1回、「子どもの姿からいじめを捉える」1回	2つの講座に合わせて198人の参加があり、96.5%の満足度を得ることができた。	いじめをはじめとする問題行動等の未然防止や早期発見、早期対応等について研修を深めるために、草津市内の教職員を対象とした研修講座を実施する。	学校教育課

■基本方針4. 自殺予防の体制づくりを行います

・基本施策(6)相談支援のネットワークを構築する

① 相談窓口の充実

具体的な取り組み名	平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
新5 総合相談事業				妊娠・出産・子育てに関する相談支援や情報提供、母子健康手帳交付時の全妊婦に対する相談を行い、不安感や負担感の軽減に努める。	健康増進課
149 人権に関する悩み事相談	人権相談として、相談窓口を設置する。 常設相談(相談員による相談:火曜～土曜午前9時～12時、午後1時～4時) 特設相談(人権擁護員による相談:毎週月曜午前9時～12時、午後1時～4時) 弁護士相談(弁護士による相談:毎月第4火曜午後1時30分～4時30分要予約)	常設相談は126件、特設相談は13件、弁護士相談は5件の、合計144件の相談業務を行った。	相談件数は、直近の5年の平均(158件)の約90%となっている。	人権相談として、相談窓口を設置する。 常設相談(相談員による相談:火曜～土曜午前9時～12時、午後1時～4時) 特設相談(人権擁護員による相談:毎週月曜午前9時～12時、午後1時～4時) 弁護士相談(弁護士による相談:原則毎月第4火曜午後1時30分～4時30分要予約)	人権センター
150 市民相談	対象:市民 予定:450件/年間 月～金曜日 午前9時～午後4時30分 場所:市民相談室 内容: (1)市民の暮らしの相談(①家族関係、②不動産関係、③契約・保証・損害賠償、④行政・労働関係、⑤その他) (2)専門相談(①弁護士による法律相談、②行政相談員による行政相談、③近畿税理士会草津支部会員による税務相談、④滋賀県行政書士会湖南支部会員による行政書士相談)	対象:市民 実績:468件/年間 月～金曜日 午前9時～午後4時30分 場所:市民相談室 内容: (1)市民の暮らしの相談(①家族関係、②不動産関係、③契約・保証・損害賠償、④行政・労働関係、⑤その他) (2)専門相談(①弁護士による法律相談、②行政相談員による行政相談、③近畿税理士会草津支部会員による税務相談、④滋賀県行政書士会湖南支部会員による行政書士相談)	日常生活での人間関係やトラブル等の悩みを抱えている市民に対し相談を受ける中で、解決に導いたり、解決できる機関等を案内することにより、相談者の悩みを解消する取り組みができた。	対象:市民 予定:450件/年間 月～金曜日 午前9時～午後4時30分 場所:市民相談室 内容: (1)市民の暮らしの相談(①家族関係、②不動産関係、③契約・保証・損害賠償、④行政・労働関係、⑤その他) (2)専門相談(①弁護士による法律相談、②行政相談員による行政相談、③近畿税理士会草津支部会員による税務相談、④滋賀県行政書士会湖南支部会員による行政書士相談)	生活安心課
151 消費生活相談	対象:市民 開設日時:月～金曜日 午前9時～午後4時30分 場所:消費生活センター 業務内容: (1)消費生活に関する相談の受付または苦情の処理に関すること。 (2)苦情の処理のためのあっせんに関すること。 (3)消費者に関する調査、啓発・教育ならびに情報の収集および提供に関すること。 (4)多重債務等支援ネットワーク会議に関すること。 (5)その他消費生活の安心・安全の向上に関すること。 取組予定 ○相談(苦情)件数 1,226件 ○市民(消費者)が、消費者被害に遭わないように出前講座などの教育・啓発活動を継続的に実施します。 ○消費者リーダー会と連携した教育・啓発活動の推進、ゆるキャラ「クウとかいな」の有効活用。 ○「出前講座」、大型イベント・街頭啓発を実施します。 ○消費者月間(5月)にあわせ広域圏でイベントを実施。 ・広報くさつ、緊急町内回覧、公用車等の啓発用マグネット貼り付け。	対象:市民 開設日時:月～金曜日 午前9時～午後4時30分 場所:消費生活センター 業務内容: (1)消費生活に関する相談の受付または苦情の処理に関すること。 (2)苦情の処理のためのあっせんに関すること。 (3)消費者に関する調査、啓発・教育ならびに情報の収集および提供に関すること。 (4)多重債務等支援ネットワーク会議に関すること。 (5)その他消費生活の安心・安全の向上に関すること。 取組実績 ○相談(苦情)件数 1,118件 ○出前講座等年間27回(高齢者サロン7回、イベント9回、警察合同路上啓発3回、団体・地域活動2回、プレゼン1回、学校5回) ○広報くさつ「ハイ!消費生活相談員です」12回、緊急町内回覧2回、公用車等啓発活動を1回実施。 ○消費者被害防止キャンペーン1回5月に実施(A-SQUARE) ○公用車等の啓発用マグネット貼り付け。	相談者の消費者トラブルの解決に向けた助言やあっせんを実施し、トラブルを解消する取り組みができた。また、市民に対し、出前講座などの教育・啓発活動を実施し、消費者被害を未然に防ぐ取り組みができた。	対象:市民 開設日時:月～金曜日 午前9時～午後4時30分 場所:消費生活センター 業務内容: (1)消費生活に関する相談の受付または苦情の処理に関すること。 (2)苦情の処理のためのあっせんに関すること。 (3)消費者に関する調査、啓発・教育ならびに情報の収集および提供に関すること。 (4)多重債務等支援ネットワーク会議に関すること。 (5)その他消費生活の安心・安全の向上に関すること。 取組予定 ○相談(苦情)件数 1,226件 ○市民(消費者)が、消費者被害に遭わないように出前講座などの教育・啓発活動を継続的に実施します。 ○消費者リーダー会と連携した教育・啓発活動の推進、ゆるキャラ「クウとかいな」の有効活用。 ○「出前講座」、大型イベント・街頭啓発を実施します。 ○消費者月間(5月)にあわせ広域圏でイベントを実施。 ・広報くさつ、緊急町内回覧、公用車等の啓発用マグネット貼り付け。	生活安心課
152 納付相談窓口の充実	納付相談時における内在した悩みの把握について相談員のスキルアップを図る。 悩み事の解決に取り組む機関、所属等の情報収集に努める。	新たに着任した職員に対して対応のノウハウやポイント等を伝えるとともに、直面した事例等の共有を行った。 また、悩み事の解決に取り組む機関、所属および担当する悩み事の方針についての情報を収集し、相談員間で情報を共有した。	ノウハウや情報等の蓄積により各相談員の対応スキルがアップし、相談窓口の充実および組織力の向上に繋がった。	納付相談時における内在した悩みの把握について相談員のスキルアップを図る。 悩み事の解決に取り組む機関、所属等の情報収集に努めるとともに、相談員間で情報を共有することで相談窓口の充実を図る。	納税課
153 就労に関しての相談	就労支援相談員による就職困難者等にかかる相談業務において、相談や情報提供に併せて健康相談やメンタル面についてもヒアリングを行い、必要に応じて関係機関との連携を図り、相談者に配慮しながら取り組む。	就労支援相談員による就職困難者等にかかる相談業務において、相談や情報提供に併せて健康相談やメンタル面についてもヒアリングを行い、必要に応じて関係機関との連携を図り、相談者に配慮しながら取り組んだ。 相談件数:171件 相談者数:23人	就労相談から就労につながった件数は7件である。 その他、多くの相談者に対して情報提供を行い、就労だけでなく、健康面やメンタルの問題についての相談を行っている。	就労支援相談員による就職困難者等にかかる相談業務において、相談や情報提供に併せて健康相談やメンタル面についてもヒアリングを行い、必要に応じて関係機関との連携を図り、相談者に配慮しながら取り組む。	商工観光労政課
154 暮らしのサポートセンター	平成27年4月1日施行された、生活困窮者自立支援法により、就労準備支援、住宅確保給付金の支給等の支援を行っていく。 またリーフレット等を活用し、制度周知を図る。	生活困窮者に対して、就労準備支援、住居確保給付金の支給等の支援を行うとともに、相談窓口の周知活動として、リーフレット配布範囲を民間金融機関やスーパー等、市民の目に触れやすい場所に拡大を図った。	相談件数(延)として、平成26年度は89件に対して、平成27年度は139件であり、前年度比1.57倍の相談件数となったため、一定の効果があつたものと考えられる。	生活困窮者自立支援法により、就労準備支援、住宅確保給付金の支給、一時生活新事業、子どもの学習支援事業等の支援を生活困窮者に対して適切に案内し、支援を行っていく。	社会福祉課
155 生活保護業務	生活困窮者に対して、困窮の程度に応じた必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するため、窓口相談等を行う。	生活困窮に応じた保護を実施し、最低限度の生活を保障するとともに、自立助長のため、適切な窓口相談業務等を行った。	生活保護相談者に対して窓口相談を適切に行うことで、自立助長に対する支援をすることが出来た。	生活保護相談者に対して、適切に窓口相談等を行うことで、ニーズを汲み取り、相談者に合った適切な支援を行っていく。	社会福祉課
156 障害者に関する相談	草津市立障害者福祉センター(NPO法人が指定管理)を中心に、障害者に関する相談を実施する。	草津市立障害者福祉センター(NPO法人が指定管理)を中心に、障害者に関する相談を実施した。	草津市立障害者福祉センター(NPO法人が指定管理)を中心に、障害者に関する相談を実施できている。	引き続き草津市立障害者福祉センター(NPO法人が指定管理)を中心に、障害者に関する相談を実施する。	障害福祉課
157 障害者の虐待防止	障害者虐待の通報の受付・相談、一時保護所の確保等の対応を行うとともに、虐待防止についての啓発を行う。	障害者虐待の通報の受付・相談、一時保護所の確保等の対応を行うとともに、虐待防止についての啓発を行った。	障害者虐待防止法に基づき、障害者虐待の通報の受付・相談、一時保護所の確保等の対応を行った。	障害者虐待の通報の受付・相談、一時保護所の確保等の対応を行うとともに、虐待防止についての啓発を行う。	障害福祉課

158	成年後見制度利用支援	NPO法人に事業を委託し、成年後見制度の周知と利用の促進を図る。	NPO法人に事業を委託し、成年後見制度の周知と利用の促進を図った。	委託契約に基づき、相談、申立支援等の成年後見制度利用促進事業を実施した。	NPO法人に事業を委託し、成年後見制度の周知と利用の促進を図る。	障害福祉課
159	こころの健康に関しての相談	こころの健康に関する相談を希望する者に対し、保健師が個別に電話や面接等で相談を実施していく	こころの健康に関する相談を希望する者に対し、保健師が個別に電話や面接等で相談を実施した。 精神保健相談件数 訪問 461件 電話 573件 面接 225件	昨年度と概ね同程度の相談件数となっている。こころの健康に関する相談支援の窓口の一つとして、今後も機会を通じて窓口の周知を図ると共に、相談支援を継続していく。	こころの健康に関する相談を希望する者に対し、保健師が個別に電話や面接等で相談を実施していく。	健康増進課
160	庁内全職員対象ゲートキーパー養成研修による相談対応のスキルアップ	2回開催予定 ゲートキーパー養成研修 対象:庁内職員等	①「ゲートキーパー養成研修 ステップアップ編」 講師:滋賀医科大学附属病院看護師長 安藤光子さん 参加者 128人 ②「ゲートキーパー養成研修(初級編) ～気づき・聴き・つなぎ・見守る～」 講師:京都文教大学臨床心理学部講師 松田美枝さん 参加者 136人	初級編とともにステップアップ編を開催したことで、参加者の9割以上が内容理解でき、6割がゲートキーパーとして行動できると感じられるなど、効果的に実施ができた。	2回開催予定 ゲートキーパー養成研修 対象:庁内職員等	健康増進課
161	妊産婦、乳幼児等に関する健康相談	妊産婦、乳幼児等に対し、心身の健康に関する相談を行う。	母子健康手帳交付時やすこやか訪問、ハイリスク妊産婦連絡票、乳幼児健診等により育児不安等がある人を把握し、電話や訪問等による相談を実施した。	アンケートから、妊娠中や産後に、不安や負担を抱えている方が6割以上あり、相談、支援の充実が必要である。	子育て相談センターを開設し、母子健康手帳交付時に全妊婦に対して、助産師、保健師等が相談を実施する。また、産後サポート事業、産後ケア事業を実施し、早期に支援の必要な方の把握や早期支援につなげ、不安や負担の軽減に努める。	健康増進課
162	介護者相談窓口	圏域包括支援センターの職員の増加により、相談体制の充実が図られたことから、介護者相談窓口は終了。	-	-	-	長寿いきがい課
163	高齢者の虐待防止	高齢者虐待の通報の受付・相談、一時保護等の対応を行うとともに、虐待防止についての啓発を行う。	通報件数 36件 虐待の処遇検討会議は定期で6回、随時で8回開催した。	通報のあった事例については、すべて検討会議をおこなった。	継続実施。	長寿いきがい課
164	成年後見制度利用支援	NPO法人に事業を委託し、成年後見制度の周知と利用の促進を図る。	NPO法人に事業を委託し、成年後見制度の周知と利用の促進を図っている。相談支援件数 66件	必要な人は、包括から成年後見センターにつないでいる。必要時には、関係者が集まり、権利擁護事例検討会を実施している。	継続実施	長寿いきがい課
165	総合相談支援事業	圏域地域包括支援センターは、地域の高齢者やその家族等に対して在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、各種の保健・福祉サービスが総合的に受けられるよう関係機関と調整し、在宅生活の支援を行う。	各中学校区に地域包括支援センターを設置し相談支援を実施している。	H27年度 相談件数 延べ16,237件。	継続実施。	長寿いきがい課
166	【再掲】 少年相談	24と同じ	24と同じ	24と同じ	24と同じ	草津市立少年センター
167	【再掲】 心配ごと相談所	130と同じ	130と同じ	130と同じ	130と同じ	草津市社会福祉協議会

② 学校における相談体制の充実

具体的な取り組み名	平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
新6 スクールカウンセラー等活用事業		高穂中1人、草津中3人(常駐) 老上中1人、玉川中1人、松原中2人、新堂中1人、笠縫東小1人配置している。相談件数は児童生徒+保護者 合計773件であった。	教師とスクールカウンセラーが連携することで、子どもの変化に気づくことができ、いじめ等の早期発見、早期対応もスムーズに行うができた。	スクールカウンセラーを高穂中1人、草津中3人(常駐)、老上中1人、玉川中1人、松原中2人、新堂中1人、笠縫東小1人配置する。	学校教育課
168 草津市問題行動対策委員会、小中学校生徒指導主事主任会、グレードアップ連絡会の開催	草津市問題行動対策委員会(週1回)、小中学校生徒指導主事主任会(月1回)、中学校区別グレードアップ連絡会(中学校区ごとに月1回)を開催し、児童生徒の問題行動等への対策を推進する。	・関係機関、各学校間、小中学校間等との連携を図ることができ、児童生徒の問題行動は減少した。平成26年度の問題行動は886件であったが、今年度は720件と減少した。 ・中学校区別グレードアップ連絡会は各中学校で年間9回、また運営協議会を年間4回開催した。	関係機関との連携や小学校と中学校間との連携を密に行うことができるようになり、気になる児童生徒への早期対応をすることができた。	草津市問題行動対策委員会(週1回)、小中学校生徒指導主事主任会(月1回)、中学校区別グレードアップ連絡会(中学校区ごとに月1回)を開催し、児童生徒の問題行動等への対策を推進する。	学校教育課
169 研修会への参加呼びかけ	滋賀県教育委員会が主催するメンタルヘルスにかかる研修会の参加を各学校へ呼びかける。	滋賀県教育委員会が主催するメンタルヘルスにかかる研修会の参加を各学校へ呼びかけた。 参加者 19校中8校 8人	参加者がいない学校もあり、学校に対して積極的な参加を求める必要があった。	滋賀県教育委員会が主催するメンタルヘルスにかかる研修会の参加を各学校へ呼びかける。	スポーツ保健課

■基本方針4. 自殺予防の体制づくりを行います

・基本施策(6)相談支援のネットワークを構築する

③ 相談窓口の周知

具体的な取り組み名		平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
新7	保護者へのスクールカウンセラー等活用事業の周知		各小中学校の保護者へ文書で周知することで359件保護者からの相談があった。	保護者へ周知することで、子どもの相談件数も増えた。	保護者へのスクールカウンセラー等活用事業を文書で周知する。	学校教育課
170	人権に関する悩み事相談	人権相談を周知するため、リーフレット作成、啓発物品、センターだより(年2回全戸配布)等配布、市広報に掲載。転入者へ案内チラシの配布などを行う。	左記による案内・周知を行った。	相談件数は、直近の5年の平均(158件)の約90%となっている。	人権相談を周知するため、リーフレット作成、啓発物品、センターだより(年2回全戸配布)等配布、市広報に掲載。転入者へ案内チラシの配布などを行う。	人権センター
171	【再掲】 市民相談	150と同じ	150と同じ	150と同じ	150と同じ	生活安心課
172	【再掲】 消費生活相談	151と同じ	151と同じ	151と同じ	151と同じ	生活安心課
173	納付相談窓口の周知	病気、失業、災害、事業の廃止などのやむを得ない事情があるときや、多重債務などで納期内の納付が困難なときに相談できる窓口があることを広く周知する。	納税課専用封筒、納付通知書兼領収証書、納期限一覧表、広報くさつ11月15日号等で納付相談窓口の周知を行った。	様々なツールを通じて相談窓口の周知ができた。	病気、失業、災害、事業の廃止などのやむを得ない事情があるときや、多重債務などで納期内の納付が困難なときに相談できる窓口があることを広く周知する。	納税課
174	【再掲】 暮らしのサポートセンター	154と同じ	154と同じ	154と同じ	154と同じ	社会福祉課
175	【再掲】 生活保護業務	155と同じ	155と同じ	155と同じ	155と同じ	社会福祉課
176	相談窓口リーフレット作成・配布	相談窓口リーフレットの平成27年度版を作成する。9月10日の南草津駅前広場等にて啓発時、9月の自殺予防週間、3月の自殺対策強化月間、出前講座、各窓口にて相談窓口リーフレット配布を実施し、周知を図る。	相談窓口リーフレットを改訂し配布した。配布先:相談窓口関係機関・企業同和推進協議会・商工会会員・障害児(者)自立支援協議会・居宅介護支援事業所・医療機関・保育所(園)、幼稚園、小中学校の児童生徒、高校、大学、町内回覧 など	仕事を持つ中年層、健康問題や家庭内の問題を抱えているかもしれない人をターゲットに、少しでも多くの市民にリーフレットが届くよう工夫し配布した。特に商工会会員全員に直接配布できたことは、働く人への啓発として有意義であったと考えている。	相談窓口リーフレットの作成 変更箇所があれば改訂し、配布する。	健康増進課
177	妊産婦、乳幼児等に関する相談窓口の周知	妊産婦、乳幼児等に関する相談窓口の周知を行う。	広報、HP、さわやか健康だより等で相談窓口の周知を行った。	アンケートから、妊産婦が不安や負担を抱えている方が6割以上あり、相談、支援の充実が必要である。	子育て相談センターの開設について、広報、HP、チラシ、相談窓口リーフレット等で相談窓口の周知を行う。	健康増進課
178	地域包括支援センターの周知活動	市民や地域の関係者が集まるさまざまな機会を捉え周知活動を行う。	市民や地域の関係者が集まるさまざまな機会を捉え周知活動を行う。	市民や地域の関係者が集まるさまざまな機会を捉え周知活動を行った。	継続実施。	長寿いきがい課
179	【再掲】 少年相談	24と同じ	24と同じ	24と同じ	24と同じ	草津市立少年センター

④ 相談支援のネットワーク体制の構築

具体的な取り組み名		平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
180	人権に関する悩み事相談	必要に応じて、関係所属、機関と連携し、情報を共有、協議・検討し、支援を行う。	以下の機関と連携・協議を行った。健康増進課、年金事務所、保険年金課、大津家庭裁判所、草津警察署、子育て支援センター、学校教育課、幼稚園、社会福祉課、児童相談所、子ども家庭課など。	関係機関との有効な連携と協議を行うことができた。	必要に応じて、関係所属、機関と連携し、情報を共有、協議・検討し、支援を行う。	人権センター
181	【再掲】 市民相談	150と同じ	150と同じ	150と同じ	150と同じ	生活安心課
182	【再掲】 消費生活相談	151と同じ	151と同じ	151と同じ	151と同じ	生活安心課
183	納付相談時における悩みの把握に対する取り組み	納付相談時における内在した悩みの把握と、その内容に応じた関係機関との連携に努める。また、悩み事の解決に取り組む機関、所属等の情報収集に努める。	相談中に多重債務等が判明した場合には、市民相談室や消費生活センターに相談を促した。悩み事の解決に取り組む機関、所属および担当する悩み事の分野についての情報を収集した。相談の待合中、相談者の目に触れるように、相談室に各種相談窓口にかかるポスター、チラシ等を掲示した。	相談者の状況を聞き取り、相談者への適切な情報提供や関係機関との情報共有を実施できた(件数は把握できず)	納付相談時における内在した悩みの把握および、関係機関との連携を図るとともに、情報収集に努める。	納税課
184	こころの健康に関しての相談	こころの健康に関する相談を希望する者に対し、関係機関とともに必要な相談、調整を行う。	こころの健康に関する相談を希望する者に対し、保健師が下記の通り、関係機関と連携を図りながら、電話や面接等で相談を実施した。 精神保健相談件数 1, 259件 連絡調整件数1, 648件、うちケース会議件数164件	日々のケースワークを通じて連携を図ることが、ネットワーク体制の構築に繋がっている。	こころの健康に関する相談を希望する者に対し、関係機関とともに必要な相談、調整を行う。	健康増進課
185	【再掲】 総合相談支援事業	165と同じ	165と同じ	165と同じ	165と同じ	長寿いきがい課
186	学校いじめ防止基本方針の策定、学校問題対策委員会の設置	学校問題対策委員会を各校に設置し、いじめや問題行動等の未然防止・早期発見・早期対応の取組を推進するとともに、専門家の参画による委員会を年2回実施することにより、その充実を図る。	市内各小中学校、年2回の専門家参画の学校問題対策委員会を開催した。延べ実施回数38回	専門家のアドバイスをもらうことで、いじめの未然防止、早期発見、早期対応についての取組を行うことができた。	学校問題対策委員会を各校に設置し、いじめや問題行動等の未然防止・早期発見・早期対応の取組を推進するとともに、専門家の参画による委員会を年2回実施することにより、その充実を図る。	学校教育課

⑤ 相談窓口担当者等のメンタルケア事業

具体的な取り組み名	平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
新8 研修会等への参加呼びかけ		児童生徒の自殺予防に関する普及啓発協議会。スクールカウンセラー等活用事業担当者会議。	研修に参加することで、子どもへの接し方や聞き取りの方法を学ぶことができた。	研修会、協議会への参加	学校教育課
187 相談窓口担当者自身のメンタルケアについて学習機会を設ける	ゲートキーパー養成研修や、出前講座等の機会に、自身のメンタルケアについての内容も入れる。	ゲートキーパー養成研修会講演内容に相談窓口担当者自身のメンタルケアに関しての内容を盛り込んだ。	よりよい支援のために、支援者のメンタルヘルスが重要であることを研修できた。今後も継続していく必要がある。	ゲートキーパー養成研修や、出前講座等の機会に、自身のメンタルケアについての内容を加える。	健康増進課

■基本方針4. 自殺予防の体制づくりを行います

・基本施策(7) 遺された人の苦痛をやわらげる

① 相談支援と情報提供

具体的な取り組み名	平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
188 【再掲】 ころの健康についての相談	95と同じ	95と同じ	95と同じ	95と同じ	健康増進課
189 【再掲】 心配ごと相談所	130と同じ	130と同じ	130と同じ	130と同じ	草津市社会福祉協議会

② 自死遺族会等との連携

具体的な取り組み名	平成27年度取り組み実施計画	平成27年度取り組み事業実績	平成27年度評価	平成28年度実施計画	課名
190 ころの健康についての相談	ころの健康に関する相談を希望する者に対し、また、相談対応を行う関係機関と連絡の機会に、自死遺族会の紹介や自死遺族会へつなげていく。 また、会議等で意見をいただき自殺対策の取り組みに活かしていく。	随時自死遺族の相談に対応(延べ32件) 滋賀県自死遺族の会(凧の会)サテライト開催に協力(草津市立まちづくりセンターにて1回開催) 次年度に定例会を一部草津会場で開催するための調整 自殺対策推進会議にて委員として取り組みについての意見をいただいた。	自死遺族の会のサテライト開催により、市広報紙で案内するなど、広く市民に会の存在を啓発することができ、市内対象者を勧奨することもできた。来年度には定例会を一部草津で実施できるようになり、より周知が図れると考えられる。 自殺対策推進会議に参画いただき計画推進に生かすことができた。	ころの健康に関する相談を希望する者に対し、また、相談対応を行う関係機関と連絡の機会に、自死遺族会の紹介や、自死遺族会へつなげていく。(定例会の草津開催3回後援) また、遺族会メンバーから、会議等で意見をいただき自殺対策の取り組みに活かしていく。	健康増進課